

ブレない！曲げない！あきらめない！

佐久市議会議員

大井岳夫市政レポート

第18号

高瀬地区版

2018年10月

発行責任者

中村通

討議資料

岸野高瀬バイパスの整備について

昨年11月、84年振りに掛け替えられた佐久橋。今後は先に合意形成がなされた岸野側よりバイパス整備が行われていきます。

現在、中沢川にかかる深町橋の測量・設計が行われていますが、地権者のご理解のもと順調に進めば、国道142号沓沢入口の交差点から佐久橋にかけては、5年程度でのバイパス開通を目標としています。



高瀬側ルート of 早期決定を目指すとともに
危険箇所の解消に努めます！

●高瀬側のバイパスはどうなるのか？

県に対し「高瀬地区内におけるルート選定にあたり、さらなる調査・研究を進め、当該地区の早期事業化を求める」要望を、バイパス建設促進期成同盟会の皆様と繰り返し行ってきたところですが、未だに調査実施の見通しすら立っていません。

事故が起きてからの対応では遅いのです。今後も、高瀬側ルートの早期決定を目指すとともに、佐久橋前後の照明設置や、減速を促す標識やカラー舗装整備などにより、危険箇所の解消に引き続き努めてまいります。

●集荷場と横和交差点間の歩道整備について

●三河田の子どもたちの安全のために！

長年にわたる地元関係者のご尽力により、本年、県道139号小諸中込線のJA高瀬集荷場一帯に歩道が整備されました。

- ① 本年より平成31年度にかけて、三河田交差点からJA高瀬集荷場に向けての区間
- ② 平成31年より32年度にかけて、JA高瀬集荷場から横和交差点に向けての区間

が整備される予定です。

長い距離を歩いて高瀬小に通う三河田の子どもたちの安全確保のために、引き続き県に、歩道の早期整備を求めてまいります。



JA高瀬集荷場と、南側一部に整備された歩道
三河田信号交差点～横和信号交差点間
早期の全区間整備を求めていきます！

白山団地の状況について

●市営住宅側はリフォーム工事が進む

市営住宅側は下記画像の通り、現在4期リフォーム工事が行われています。工事は来年2月に完成予定で、5月頃に入居者の募集（15戸の予定）が行われる見込みです。

●一方、県営住宅側は見通しが立たず

県営住宅（70戸）は、築47～48年が経過していますが、建て替え、リフォーム等の見通しは立っていません。同じ区内において、道を挟んで古い住宅と新しい住宅が混在することは、好ましいことではありません。今後にも県に、早期の対応を求めてまいります。



白山団地(市営住宅)のリフォーム計画

工期	期間	リフォーム等工事内容
1～3期	平成28～29年度	8棟28戸
4期	平成30年度	5棟20戸
5期	平成31年度	既存棟取り壊し、駐車場整備

中佐都バイパスの整備について

落合北交差点から中佐都ICに向かう約1.1kmの区間は、佐久市の「北幹線」として重要路線に位置付けられていますが、拡幅がなされておらず、未整備区間となっています。

現在、県が事業主体となり、約9割の地権者と契約が締結され、東側の鳴瀬交差点、西側の落合北交差点の両方向から、道路拡幅に伴う新たな法面（のりめん）工事、擁壁（ようへき）工事、用水工事等が徐々に進んでいます。



高瀬地区の交通量に大きな影響を及ぼす 落合北～鳴瀬交差点間の道路整備

地権者の合意が得られれば平成33年度内に工事が完成する見通しです。この区間が整備されると、落合区内をはじめ、高瀬地区内を通る交通量の減少が期待できます。地区内の安全確保のためにも、1日も早い開通を目指します！

また、集落内からバイパスに接続する「取付け道路」の整備にも取り組んでまいります。

高瀬小校庭の壁当てブロックが復活します

本年6月の大阪府北部地震により女子児童の貴重な命が失われたことを受け、市内小中学校内において緊急点検が行われた結果、強度不足のため、高瀬小の校庭にあった壁当て用のブロック塀が撤去されました。

しかしその後、壁当て撤去を残念に思う皆様からの要望を受け、小林歳春議員とともに早期の再建を市に求めたところ、本年11月末までにプール更衣室前のネット前（左記上段画像）に、再建されることとなりました。

合わせて、以前から要望に努めていたバツクネット（左記下段画像）も、同じく11月末までに拡張整備されることとなりました。

なお、通学路の危険なブロック塀点検も9月末に完了しました。今後は所有者に対し、対応を要請していくこととなります。

